

開催レポート 戦略的な特許調査の進め方

～開発・改良を成功に導くために～ を開催しました。

東京都知的財産総合センターでは、著作権・特許出願・知財戦略など、知的財産に関する無料セミナーを毎月開催しています。今回は9月12日に開催されたセミナー「戦略的な特許調査の進め方～開発・改良を成功に導くために～」の様子をお伝えいたします。本セミナーは弁理士の伊藤夏香氏（アイエヌ知財特許事務所）を講師にお迎えし、特許調査の必要性や場面に応じたIPDL（特許電子図書館）の活用方法が解説されました。

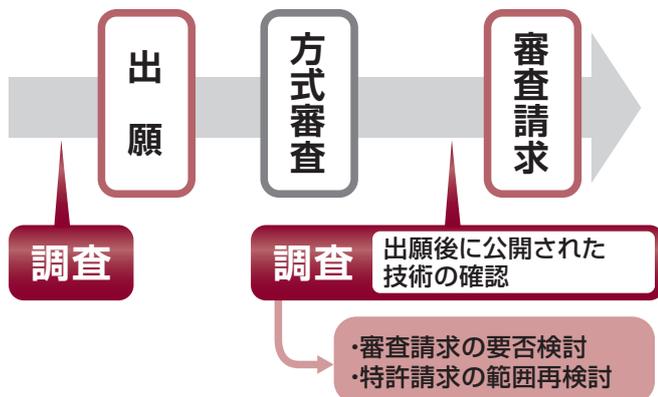


特許調査のメリット

セミナーの序盤は、製品を開発・製造・販売する際にあらかじめ特許調査をすることの必要性が説明されました。

調査によるメリットとしては、例えば、他社の特許権の侵害防止や研究開発の二重投資防止のリスク軽減など、過大なコストを抑止できるほか、将来得られるであろう利益を守れることが最近のニュースなども交えて挙げられました。

特許出願する場合には、出願前だけでなく出願審査請求前にも調査を行うことで、出願前は公開されていなかった技術が確認できます。この調査結果によっては、審査請求の要否を検討することや、従来技術との差異を把握し発明のポイントを浮き彫りにするために特許請求の範囲を再検討することなどの対応ができます。



調査結果は開発や事業戦略など以外に「発明の価値算出場面でも利用します」と伊藤氏。
（講師の伊藤夏香氏）

IPDL（特許電子図書館）を活用しよう

中盤からは、場面に応じたいろいろなIPDLの使い方と、引き出した情報の活用方法が、身近な特許製品を使って紹介されました。「IPDL」は特許や実用新案などの情報を検索できるデータベースで、インターネット上から誰でも無料で利用できます。IPDLの検索結果を分析し、図やグラフなどにわかりやすく視覚化した「特許マップ」についても説明され、受講者はよりいっそうの理解を深めました。

また、IPDLから引き出した公報をどのように読めば良いか、先行調査や侵害確認などの場面別に解説されたほか、素早く発明を把握するためのコツなどもレクチャーされ、内容の充実したセミナーでした。

知財セミナーの募集は
15ページから!



問い合わせ先

東京都知的財産総合センター

TEL 03-3832-3656 E-mail chizai@tokyo-kosha.or.jp

公社トップページ → 研修・セミナー・講習会のお知らせ